

学科名 近代建築の遺産を訪ねて

テーマ 校外学習（国立京都国際会館他）

実施日 2025/10/1 AM10:30～

京都市営地下鉄国際会館駅で全員集合し、その後、班ごとに分散して、ボランティアガイドの方の説明を聞きながら、国際会館、ザ・プリンス京都宝ヶ池ホテル・宝ヶ池公園を巡りました。最後は班ごとにランチを楽しみ、午後の活動をしました。



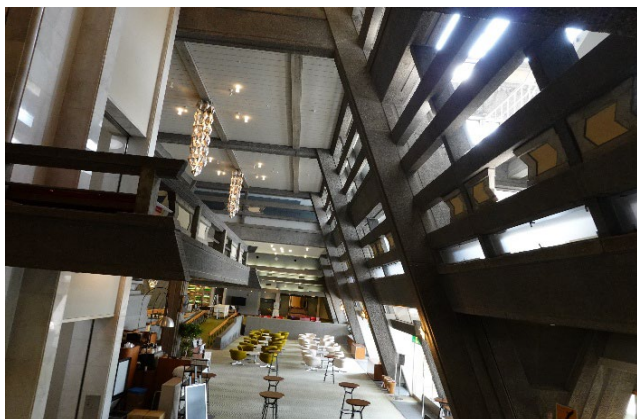
CAさんの集合合図による、これからの行動説明を受けているところ。

集合、班ごと4班に分かれて分散見学。まず、国際会館へ。

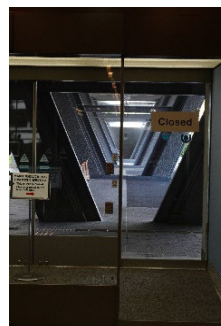


ボランティアさんから説明（注意事項）を傾聴。普段は一般公開はされておらず、一部（玄関受付、レストラン）のみ入館可。

入館するには、毎月数日開催されるICC Kyoto Open Day（無料）やガイド付見学ツアー（数千円～数万円）に参加することが必要。



(↑) 見学可能スペース。殆どは立入禁止区域



←Vの字の柱から、建物構造の特徴が垣間見える。

(↑写真) 公開スペースからパブリックスペースを見る。

1966年（昭和41年）5月21日、日本で最初の国立の会議施設として開設された。

敷地面積は157,100m²。建築物は、日本人建築家・大谷幸夫の設計による代表作。

国が主催となって1963年（昭和38年）に開催された建築コンペで、195点の応募作品から選考された。

設計上の特徴は、日本古来の合掌造り様式と現代的建築様式の融合。施設の一部（宴会場の一つ）は1973年（昭和48年）の増設。附属施設として池と木々からなる日本庭園があり、現代的建造物との対比を演出するとともに、隣接する宝ヶ池への導線上に位置づけられている。

国際会館見学後、ザ・プリンス京都宝ヶ池ホテルを見学。



空から見る(→)

←ホテル建物内部

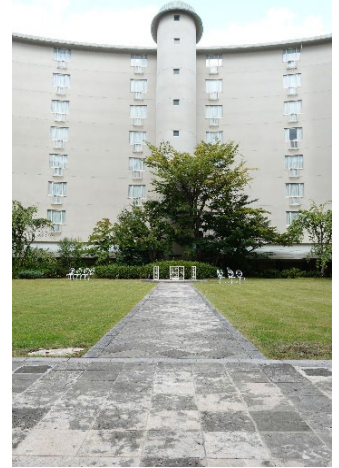


円形ホテル建物中央にある中庭(→)

豪華なシャンテリアと螺旋階段(↓)



(↑)園庭内で寛ぐ。



ワール創業者で当時社長であった塚本幸一(当時;京都商工会議所会頭)が「京都ミットを誘致するには、必須条件だ」とホテル誘致を推進し、建設された。村野藤吾設計。円形の建物で中心部には中庭が配置され全層吹き抜けとなっている。周囲にはホテル全体を包み込む様に植樹林が立ち並んでいる。

正式名称：ザ・プリンス 京都宝ヶ池 階数：地下2階-地上8階 部屋数：310室

開業：1986年10月9日

その後、宝ヶ池公園を散策しました。



国際会館周辺マップに沿って長い距離を歩きながら、説明して下さったボランティアガイドさんに感謝！

散策後、各班ごとにランチを楽しみ、午後から各々班が班活動を実施。

我々3班は京都工芸繊維大学を散策、有名なヴォーリズ設計のKIT倶楽部を訪れました。

